

気象防災ワークショップ(風水害編)実施要領

1. 目的

大雨による土砂災害、洪水害が懸念される状況において、気象庁などから提供される気象情報等を適切に使い、的確なタイミングで体制の強化や避難の判断を行えるよう、基本的な考え方やその重要性を理解する。また、市長や本部員に対し、対応方針を決定する上で、その根拠となる情報収集や資料の作成方法等について学ぶ。

2. 日時 令和元年12月24日(火) 13時～16時 (ワークショップ)

3. 場所 市役所 新館3階 会議室11・12

4. 参加対象者

各対策班および地区本部の班員(地区本部員)として、初動対応期に中心に活動する職員

5. 講師 彦根地方気象台職員

6. 内容

時刻	所要時間	実施内容
13:00 - 13:15	15分	開始 ~ アイスブレイク (ワークショップの目的・目標や進め方等に関する説明など)
13:15 - 14:35	80分	災害対応グループワーク (架空の自治体を題材とした気象防災に関するグループディスカッション・発表【場面1、2】)
14:35 - 14:45	10分	休憩
14:45 - 15:20	35分	災害対応グループワーク (架空の自治体を題材とした気象防災に関するグループディスカッション・発表【場面3】)
15:20 - 16:55	35分	質疑応答、意見交換
15:55 - 16:00	5分	講評、まとめ